

# 那珂市の財政事情

問い合わせ

財政課財政グループ  
☎ 298-1111  
(内線 522・523)

## 平成24年度決算および財政健全化比率・平成25年度上半期執行状況

市では、市民の皆さんに財政状況をお知らせし、市政運営の状況をご理解いただくため、毎年2回、財政事情を公表しています。

今回は、9月の市議会定例会で認定されました平成24年度決算の状況および平成25年4月1日から平成25年9月30日までの間における予算の執行状況などについてお知らせします。

### ①平成24年度決算

#### ◆平成24年度一般会計収支状況

区分	平成24年度	平成23年度	増減率
予算額	219億6406万4千円	241億2809万8千円	△9.0%
歳入総額①	205億4933万4千円	232億757万8千円	△11.5%
歳出総額②	191億7218万1千円	207億7887万4千円	△7.7%
歳入歳出差引額③(①－②)	13億7715万3千円	24億2870万4千円	△43.3%
翌年度に繰り越すべき財源④	4億87万6千円	13億1091万4千円	△69.4%
継続費通次繰越額	3225万円	0円	皆増
繰越明許費繰越額	3億5567万6千円	13億1091万4千円	△72.9%
事故繰越繰越額	1295万円	0円	皆増
実質収支額⑤(③－④)	9億7627万7千円	11億1779万円	△12.7%

平成24年度の一般会計決算は、前年度が東日本大震災に伴う災害関連事業の増により歳入歳出総額が大幅に増加したことから、相対的に減少しています。歳入は前年度の災害復旧事業が繰り越されたことにより繰越金が増加した一方、固定資産税の減収や震災復興特別交付税の減少により大幅な減額となりました。歳出では道路改良舗装事業などの普通建設事業が増加した一方、災害復旧事業に係る下水道事業特別会計などへの繰出金が減少したことにより、大幅な減額となりました。

### 【歳入】

205億4933万4千円  
(対前年度比11.5%減)

#### ○地方交付税 43億2214万9千円

21.0%(前年度比44.9%減)

- ・震災復興特別交付税の減

#### ○国庫支出金 22億6824万7千円

11.0%(前年度比4.7%減)

- ・農業用施設災害復旧事業の減

#### ○市債 14億8378万8千円

7.2%(前年度比4.0%増)

- ・中学校屋内運動場耐震補強事業債の皆増

#### ○県支出金 12億5696万8千円

6.1%(前年度比14.7%減)

- ・市町村復興まちづくり支援事業の皆減

#### ○その他 8億6247万4千円

4.2%(前年度比6.7%減)

- ・地方特例交付金の減

#### ○市税 67億1668万9千円

32.7%(前年度比1.8%減)

- ・固定資産税の減

#### ○繰越金 24億2870万4千円

11.8%(前年度比107.1%増)

- ・前年度繰越金の増

#### ○諸収入 5億2892万4千円

2.7%(前年度比0.5%増)

- ・市町村防災対策事業交付金の増

#### ○繰入金 1億896万7千円

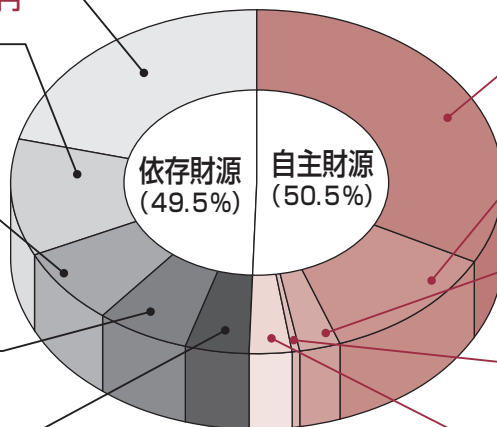
0.5%(前年度比931.6%増)

- ・震災復興まちづくり基金繰入金の皆増

#### ○その他 5億7242万4千円

2.8%(前年度比6.3%減)

- ・財産収入、寄付金の減



自主財源…那珂市が自らの権限で確保（徴収）したことによって得られた財源

依存財源…国や県から決められた額を交付されることによって得られた財源および割り当てられることなどによって得られた財源で、那珂市の裁量が制限されている財源

# 【歳 出】 191億7218万1千円 (対前年度比7.7%減)

## 歳 出 (性質別)

○その他 2億5545万1千円

1.3%(前年度比64.6%増)

・維持補修費の増

○積立金 9億4798万7千円

4.9%(前年度比41.2%減)

・財政調整基金積立金の減

○補助費等 15億6224万1千円

8.2%(前年度比4.7%減)

・大宮地方環境整備組合負担金の減

○繰出金 18億6265万6千円

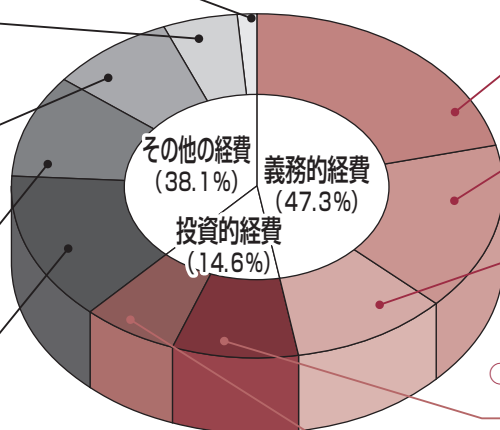
9.7%(前年度比30.9%減)

・下水道事業特別会計繰出金(災害復旧費)の減

○物件費 26億9123万5千円

14.0%(前年度比4.8%減)

・災害廃棄物対策事業の減



○人件費 40億6022万4千円

21.2%(前年度比0.7%減)

・地方公務員共済組合等負担金の減

○扶助費 30億2655万円

15.8%(前年度比1.6%増)

・障害福祉サービス給付事業の増

○公債費 19億7855万1千円

10.3%(前年度比2.3%減)

・起債償還元金および利子の減

○普通建設事業費 15億8866万3千円

8.3%(前年度比67.1%増)

・道路改良舗装事業の増  
・安心安全対策両宮排水路整備事業の増

○災害復旧事業費 11億9862万3千円

6.3%(前年度比33.6%減)

・震災による災害復旧事業の減

義務的経費…人件費・扶助費・公債費など、市が支出にあたり義務を負っている性格の強い経費  
投資的経費…工事請負費や公有財産購入費など資本形成に向けられる経費  
その他の経費…物件費・維持補修費や特別会計繰出金、積立金・出資金・貸付金など

## ○那珂市の歳入と歳出を家計に例えると…？

○収 入…月30万円

○支 出…月27万9800円

区分	金額	構成比	費目
◆給与(基本給)	9万8100円	32.7%	市税
◇給与(諸手当)	7万5600円	25.2%	地方交付税・交付金など
◇友人からの援助	5万1600円	17.2%	国庫・県支出金
◆前月からの繰越金	3万5400円	11.8%	前年度繰越金
◇ローン借入	2万1600円	7.2%	市債
◆パート収入	8400円	2.8%	使用料・手数料など
◆預金引き出し	1500円	0.5%	繰入金
◆その他臨時収入	7800円	2.6%	諸収入

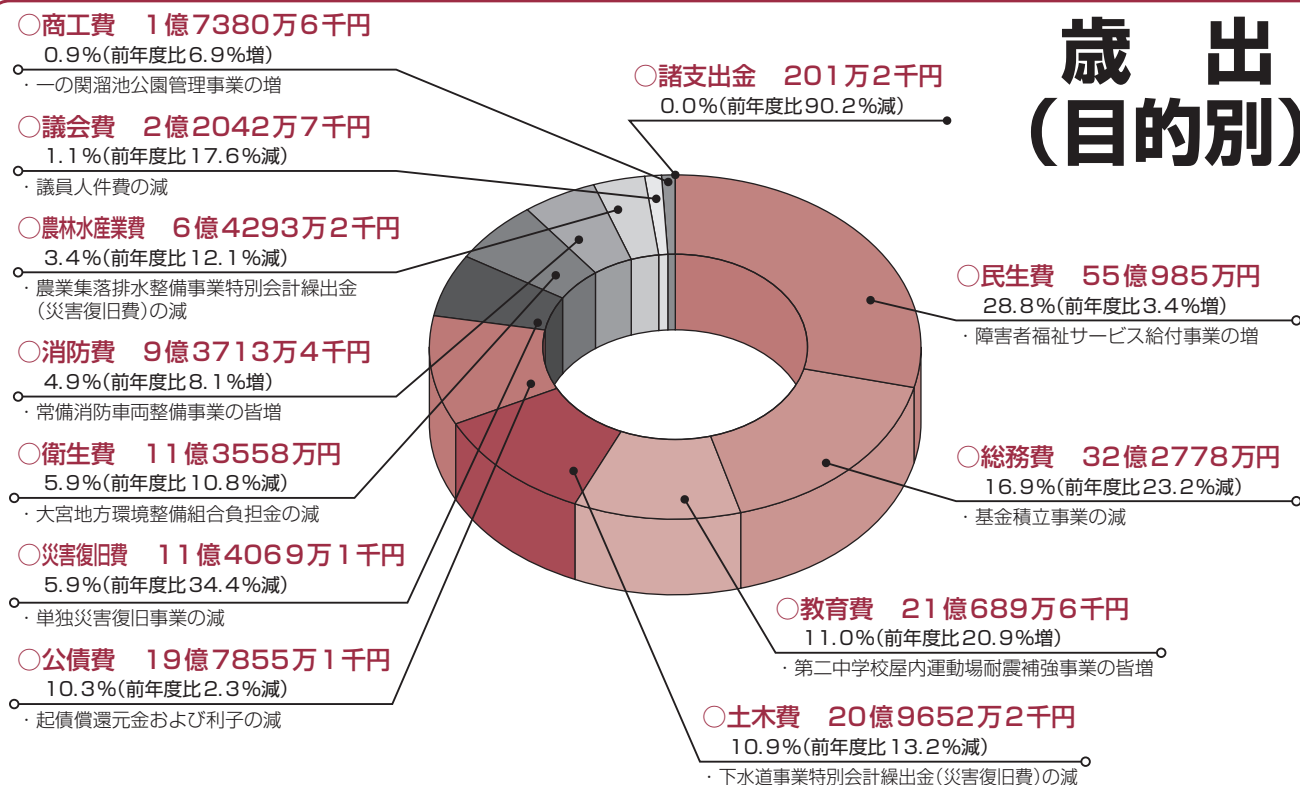
区分	金額	構成比	費目
生活費(食費・光熱水費など)	9万8800円	35.3%	人件費、物件費
医療・介護・教育費など	6万6900円	23.9%	扶助費・補助費など
家の増改築・車の購入・地震による家の補修	4万3900円	15.7%	普通建設事業費、災害復旧事業費など
ローンの返済	2万8800円	10.3%	公債費
子どもたちへの仕送りなど	2万7700円	9.9%	貸付金・繰出金など
預金	1万3700円	4.9%	積立金

◆：自主財源 ◇：依存財源

※市の年間決算額を1か月の家計に置き換えてみましたが、単純比較は困難ですので、あくまで目安としてください

●収入支出差引(歳出歳入差引) 2万200円  
●家電購入の残金ボーナス払い 5900円  
(平成25年度に繰り越す財源)  
●実際の収支(実質収支) 1万4300円

# 歳出 (目的別)



## 市税負担の状況

税 目	平成24年度 決算額	1世帯あたりの 負担額	1人あたりの 負担額
市 民 税	28億8513万4千円	13万4192円	5万1533円
固定資産税	30億643万2千円	13万9834円	5万3700円
軽自動車税	1億1957万9千円	5562円	2136円
市たばこ税	3億9611万7千円	1万8424円	7075円
都市計画税	3億942万7千円	1万4392円	5527円
合 計	67億1668万9千円	31万2404円	11万9971円

※世帯数21,500世帯、人口55,986人（平成25年3月31日現在）

市の財政は、市民の皆さんの直接または間接の税負担により成り立っています。平成24年度の1世帯1人あたりの負担額は表のとおりです。

また、都市計画税は、公園・道路・下水道などの都市計画事業や土地区画整理事業などに充てられる目的税で、市では次の事業に充当しています。なお、これらの事業の30.5%は都市計画税で賄われています。

### 【都市計画税充当事業】

安心安全対策両宮排水路整備事業、下菅谷地区まちづくり事業、上菅谷駅前地区まちづくり事業、菅谷地区まちづくり事業、上宿大木内線街路整備事業、区画整理事業費および公債費（過去の都市計画事業などで借り入れた市債の返済分）

## 特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の収入をもって特定の支出に充て、一般会計から分離して別に経理を行う会計です。平成24年度の特別会計の決算額は表のとおりです。

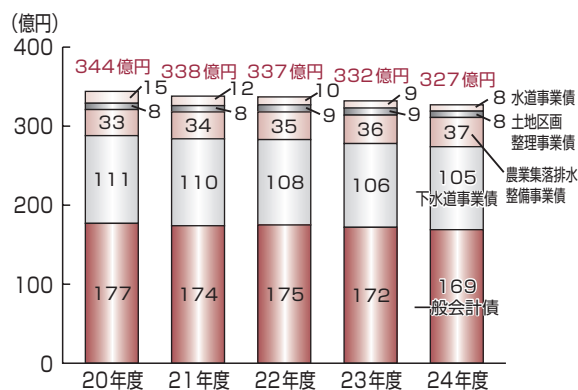
会計名	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(A)-(B)	平成23年度歳出決算額	増減率
国民健康保険(事業勘定)	57億7164万1千円	54億5714万円	3億1450万1千円	51億3732万5千円	6.2%
下水道事業	29億590万5千円	26億5388万5千円	2億5202万円	20億6810万2千円	28.3%
公園墓地事業	1610万9千円	1330万1千円	280万8千円	1239万3千円	7.3%
農業集落排水整備事業	8億5819万6千円	8億3040万9千円	2778万7千円	7億7724万1千円	6.8%
介護保険(保険事業勘定)	38億9217万9千円	38億1693万6千円	7524万3千円	34億6991万5千円	10.0%
上菅谷駅前地区土地区画整理事業	1億314万6千円	8999万8千円	1314万8千円	1億2855万4千円	△30.0%
後期高齢者医療	4億7651万8千円	4億7614万円	37万8千円	4億3283万4千円	10.0%
那珂地方公平委員会	—	—	—	5万8千円	皆減
合 計	140億2369万4千円	133億3780万9千円	6億8588万5千円	120億2642万2千円	10.9%

## 市債の状況

区分	平成24年度末現在高	増減高	平成23年度末現在高
一般会計債	169億4836万4千円	△2億3165万3千円	171億8001万7千円
下水道事業債	104億5564万4千円	△1億5019万8千円	106億584万2千円
農業集落排水整備事業債	36億6913万2千円	6076万1千円	36億837万1千円
土地区画整理事業債	7億8272万9千円	△6311万8千円	8億4584万7千円
水道事業債	8億1038万4千円	△1億295万4千円	9億1333万8千円
合 計	326億6625万3千円	△4億8716万2千円	331億5341万5千円

平成24年度末の市債現在高は、中学校屋内運動場耐震補強事業や、まちづくり交付金事業、公共下水道事業、地方交付税の振替分としての臨時財政対策債などに22億3168万8千円を借り入れた一方で、27億1885万円の元金を返済したことにより、326億6625万3千円となりました。市債現在高は市債発行の抑制により減

＜市債年度末現在高の推移＞



少しています。今後も、市債残高の抑制に努めます。  
上記のグラフは過去5年間の市債年度末現在高の推移です。市では財政健全化プランの推進により、市債発行の縮減や低金利の市債への借り換えなどにより、将来負担の軽減を図っています。

## 市有財産の状況

区 分	平成24年度末現在高	増減高	平成23年度末現在高
土地	175万3947㎡	1万6820㎡	173万7127㎡
建物	16万6854㎡	△117㎡	16万6971㎡
有価証券	1337万5千円	5万6千円	1331万9千円
出資による権利	7471万9千円	0円	7471万9千円
債権	1920万9千円	584万8千円	1336万1千円
基金	65億6905万5千円	9億4743万9千円	56億2161万6千円

土地は中里地内の土地の寄付を受け入れたことなどにより増加しました。

建物（延面積）は市内4か所の消防団詰所を解体したことなどにより減少しました。

債権は災害援護資金貸付金の増などにより増加しました。

基金については、減債基金、学校施設整備基金、公共施設整備基金などを積み増すことで9億4743万9千円の増額となりました。

## 合併に伴う財政支援措置活用事業

### ◆平成24年度合併特例債充当事業

事業名	充当額	事業費
両宮排水路整備事業 ※1	1億390万円	1億949万7千円
まちづくり交付金事業（菅谷地区）※2	1億990万円	1億8787万円
合 計	2億1380万円	2億9736万7千円

※1 繰越明許費分含む

※2 安心安全対策両宮排水路整備事業

合併特例債は、合併後の一体性の確立や均衡ある発展に資する公共施設の整備事業などに対し、その財源として発行することができる通常の地方債よりも有利な市債です。10年間の発行が認められている合併特例債は、このたびの東日本大震災により、発行期限が10年延長可能となりました。

平成24年度において、合併特例債を活用した事業は表のとおりです。

## 企業会計(水道事業会計)の決算状況

区 分		平成24年度決算額	平成23年度決算額	増減率
収益的収支	収入	11億4975万8千円	11億4903万8千円	0.1%
	支出	9億8865万9千円	11億7065万9千円	△15.5%
資本的収支	収入	2億4469万8千円	4101万8千円	496.6%
	支出	4億8786万2千円	3億7639万2千円	29.6%

市の水道事業は、民間企業と同様に企業会計が導入されており独立採算で運営しています。

○収益的収支…事業の管理運営など経常業務に関する収入および支出（消費税込み）

○資本的収支…水道管の敷設など建設改良費に関する収入および支出（消費税込み）

※資本的収入の支出に対する不足額は、内部留保資金などで補てんしました



## ②財政健全化比率の状況

従来の財政指標は、単年度における主会計（一般会計など）の収支状況に主眼がおかれていましたが、自治体全体の財政状況が健全な状態であるかどうかを判断するための次の4つの指標「健全化判断比率」が定められ、平成19年度決算から全国の自治体で公表しています。また、公営企業においても「経営健全化判断基準」が定められ、同様に公表しています。

那珂市の数値は**良好**であり、  
**健全性が保たれています！**

これまでの指標では、信号に例えると赤信号と青信号しかなかったため、気付いた時には財政破綻ということもありました。しかし、この指標では、新たに黄色信号をつくり、早めに財政状況を改善することで、破綻を未然に防ぐことを目的としています。

区 分		那珂市		早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
		平成24年度	平成23年度		
健全化判断比率	実質赤字比率	— ※黒字のため数値なし	— ※黒字のため数値なし	13.04%	20.00%
	連結赤字比率	— ※黒字のため数値なし	— ※黒字のため数値なし	18.04%	30.00%
	実質公債費比率	10.6%	11.6%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	38.4%	61.4%	350.0%	—
資金不足比率		— ※黒字のため数値なし	— ※黒字のため数値なし	経営健全化基準 20.0%	

○**実質赤字比率**…普通会計（一般会計など）の実質的赤字が標準財政規模に占める割合（1年間の収入、支出を比べ赤字の割合を示したもの）

○**連結実質赤字比率**…特別会計を含む市の全会計の実質的赤字が標準財政規模に占める割合（企業会計を含めた全会計の赤字の割合を示したもの）

○**実質公債費比率**…一般会計の公債費（借入金の返済額）に、特別会計の公債費を充てるための繰出金などを加えた実質的な公債費が標準財政規模に占める割合（市債の割合が適正かどうかを判断する数値）

○**将来負担比率**…一般会計などの実質的な将来負担額（一般会計などの借入金残高、特別会計の借入金残高のうち一般会計負担の見込み、市の全職員が退職すると仮定した場合の退職手当負担見込み、土地開発公社などの関係団体への一般会計負担見込みなど）が標準財政規模に占める割合

○**資金不足比率**…市の公営企業において生じている赤字（資金不足）が事業規模に占める割合（公営企業における経営状態の悪化の度合いを示すもの）。市では水道事業会計、下水道事業特別会計、農業集落排水整備事業特別会計の3会計が対象となります。

※標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な一般財源を示すもので、当市では120億2088万2千円（平成24年度）となっています

### 財政健全化比率以外の主な財政指標の状況

指標	指標が表しているもの	数値 (対前年比)	県内順位
財政力指数	財政基盤の強さを表す指標で、標準的な行政需要を賄うのに必要な財源を、どれだけ自力で調達できるかを表す指標です。数値が大きいほど、財源に余裕があるとされており、数値が1を超えると普通交付税の交付を受けないことになります。	0.64 (△0.02)	25位／ 44市町村
経常収支比率	財政構造の弾力性（ゆとり）を判断する指標で、経常的な経費（人件費、扶助費、公債費、物件費など）が経常的な収入（市税・普通交付税などの毎年収入される性質の収入）に占める割合で、比率が低いほど、臨時的財政需要に対して余裕があります。	91.1% (1.9)	33位／ 44市町村

# ③平成25年度上半期執行状況 (平成25年4月1日～9月30日)

平成25年度の予算執行にあたっては、限られた財源を最大限に生かすよう努めるとともに、歳入予算の早期確保と歳出予算の計画的かつ効率的な執行に努めています。

平成25年9月30日現在の一般会計、特別会計、水道事業会計、市有財産の状況および市債の状況について、お知らせします。

## ●市債現在高

区分	平成25年 3月31日現在高	増減高	平成25年 9月30日現在高
一般会計債	166億7816万4千円	△5億2782万9千円	161億5033万5千円
下水道事業債	99億6224万4千円	997万3千円	99億7221万7千円
農業集落排水整備事業債	34億7363万2千円	1億2292万2千円	35億9655万4千円
土地地区画整理事業債	7億8272万9千円	△5318万6千円	7億2954万3千円
水道事業債	8億1038万4千円	△6560万9千円	7億4477万5千円
合計	317億715万3千円	△5億1372万9千円	311億9342万4千円

## ●市有財産現在高（水道事業会計分は含まない）

区分	平成25年 3月31日現在高	増減高	平成25年 9月30日現在高
土地	173万5012㎡	1万8749㎡	175万3761㎡
建物	16万6854㎡	0円	16万6854㎡
有価証券	1331万9千円	5万6千円	1337万5千円
出資による権利	7471万9千円	0円	7471万9千円
債権	2063万7千円	1147万7千円	3211万4千円
基金	64億2874万7千円	1億4030万8千円	65億6905万5千円

## <水道事業会計>

区分		予算現額 (A)	収入・支出済額 (B)	執行率 (B)/(A)
収益的収支	収入	11億1786万4千円	5億7190万円	51.2%
	支出	10億9817万7千円	2億6693万円	24.3%
資本的収支	収入	9112万7千円	4234万7千円	46.5%
	支出	6億3463万3千円	1億6080万4千円	25.3%

※資本的収入の支出に対する不足額は、内部留保資金などで補てんします

## <特別会計>

特別会計の歳入歳出予算の執行状況は予算現額に対する収入済額の割合が34.2%、支出済額の割合が38.8%で、例年並みの状況となっています。

会計名	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入割合 (B)/(A)	支出済額 (C)	支出割合 (C)/(A)
国民健康保険(事業勘定)	55億7700万円	24億2322万4千円	43.5%	22億7333万1千円	40.8%
下水道事業	34億8577万4千円	7億6450万8千円	21.9%	13億1383万円	37.7%
公園墓地事業	1513万2千円	1137万1千円	75.1%	88万9千円	5.9%
農業集落排水整備事業	13億6565万1千円	1億5116万円	11.1%	4億1501万6千円	30.4%
介護保険(保険事業勘定)	41億5616万円	16億7756万1千円	40.4%	16億5723万1千円	39.9%
上菅谷駅前地区土地地区画整理事業	1億6699万8千円	1315万円	7.9%	8620万3千円	51.6%
後期高齢者医療	4億7100万円	1億7200万9千円	36.5%	1億5866万7千円	33.7%
合計	152億3771万5千円	52億1298万3千円	34.2%	59億516万7千円	38.8%

## <一般会計>

平成25年9月30日現在における一般会計の歳入歳出予算の執行状況は、予算現額に対する収入済額の割合が52.3%、支出済額の割合が33.4%で、ともに順調に執行されています。

